

○ **土壌診断データやICT機器等の新技術を活用した適正施肥、有機質資材の活用等による「健康な土づくり」を基本とした環境にやさしい農業**の取組を拡大するとともに、**農業者、消費者、流通・販売事業者等による相互理解に向けた情報共有のためのネットワークづくり**を推進。

【作成主体】 青森県及び県内全40市町村

【計画の主な目標】

- ・ 低成分肥料活用数量 2,400 t (R8)
- ・ 青森県特別栽培農産物の取組面積 700ha (R8)
- ・ 有機農業の取組面積 900ha (R8)

【取組のポイント】

- ・ 「日本一健康な土づくり推進プラン」に基づき、土壌診断データの分析やICT機器、施肥管理アプリなどの新技術を活用した適正施肥、堆肥などの有機質資材の活用等による「健康な土づくり」を基本とし、有機農業や特別栽培の取組を促進
- ・ 農業者と消費者・実需者との相互理解を深めるため、ECサイト活用によるPRなど農業者自らの情報発信への支援や、農業者、消費者、流通・販売事業者による情報共有のためのネットワークづくりを推進

【特定区域の設定】

<黒石市（全域）> 水稻や露地野菜でのスマート農業の実証や技術普及、有機農産物のECサイトや輸出を通じた販路拡大による有機農業の取組の推進



施肥管理アプリの活用



エコ農産物販売協力店でのPR